

令和5年度第1回鶴岡市廃棄物減量等推進審議会

日 時：令和5年8月23日（水）

午後2時から午後3時30分まで

場 所：鶴岡市ごみ焼却施設3階研修室

次 第

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 会長挨拶

4. 委員紹介並びに事務局紹介

5. 議 事

(1) 令和4年度一般廃棄物処理の事業実績について

(2) 令和5年度一般廃棄物行政の事業執行について

(3) 鶴岡市指定ごみ袋の色の変更について

6. そ の 他

7. 閉 会

鶴岡市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

(敬称略) 任期:R6.8.23まで

| 区 分 | 氏 名 | 所属団体職名 | 備考 |
|-------------------|---------|---------------------------------|----|
| 学識経験者 | 小 谷 卓 | 鶴岡工業高等専門学校 名誉教授 | |
| 関係行政機関 の 職 員 | 大 久 保 剛 | 山形県庄内総合支庁保健福祉環境部 環境課長 | 新規 |
| 住民組織等の 代 表 者 | 太 田 孝 二 | 鶴岡市コミュニティ組織協議会 第二コミュニティ振興会会長 | |
| | 菅 原 正 彦 | 鶴岡市自治振興会連絡協議会 湯野浜地区自治振興会会長 | |
| | 小 鷹 昭 雄 | 藤島地区衛生組織連合会 会長 | 新規 |
| | 半 澤 み つ | 藤島地区婦人会 会計 | |
| | 小 南 孝 子 | 羽黒町婦人会 会長 | |
| | 岡 部 祐 男 | 櫛引地区環境保全推進員協議会 会長 | |
| | 安 達 一 春 | 朝日地域自治会連絡協議会 副会長 | 新規 |
| | 榎 本 正 志 | 温海地区衛生組織連合会 会長 | |
| | 佐 藤 やよ井 | 鶴岡市食生活改善推進協議会 会長 | |
| 関係商工業団体の 代 表 者 | 菊 地 陸 | 鶴岡商工会議所議員 | |
| | 加 藤 省 二 | 出羽商工会 副会長 | |
| | 尾 川 勝 則 | 鶴岡商店会連合会 会長 | |
| 事 業 者 | 土 屋 清 光 | 一般社団法人鶴岡地区医師会 事務局長 | |
| | 竹 内 直 人 | 株式会社主婦の店鶴岡店 総務部長 | |
| | 土 田 光 恵 | 生活協同組合共立社組織部 | |
| | 佐 藤 航 | 竹屋ホテル取締役専務 | |

事務局出席者

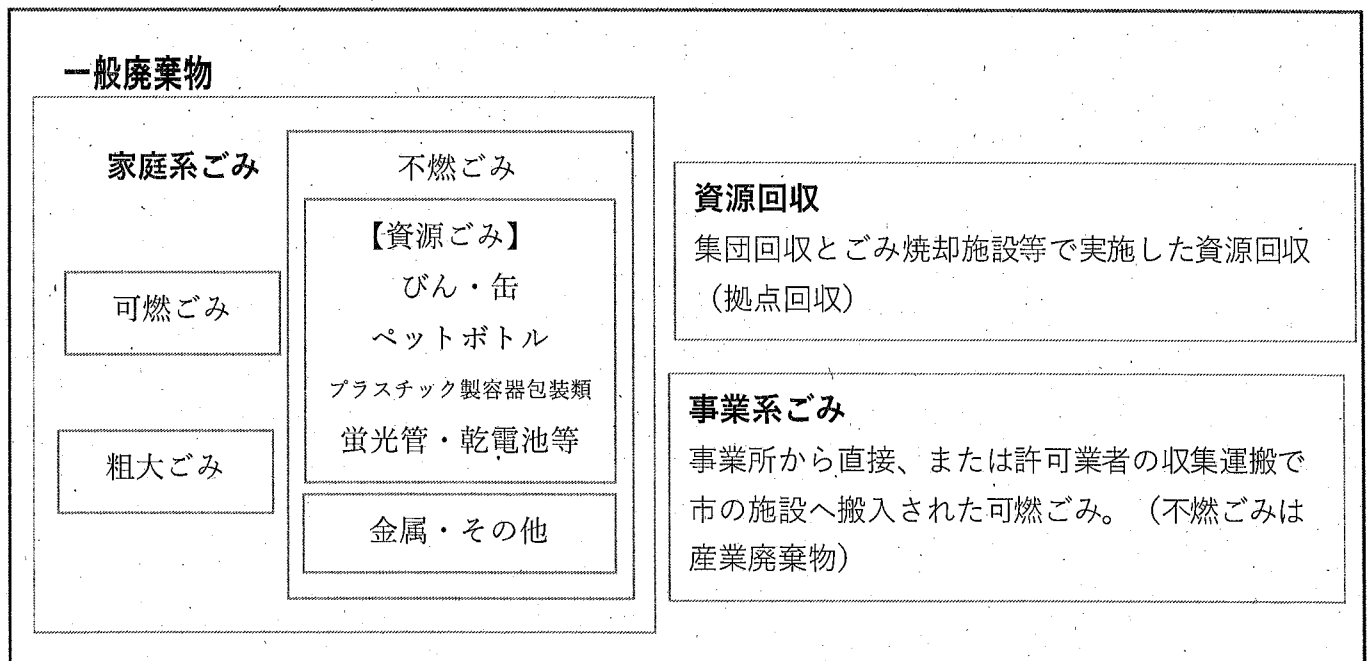
| 氏 名 | 役 職 名 |
|---------|---------------------|
| 伊 藤 慶 也 | 市民部長 |
| 玉 津 卓 生 | 廃棄物対策課長 |
| 出 村 真 一 | 藤島庁舎市民福祉課長 |
| 山 口 え み | 羽黒庁舎市民福祉課長 |
| 佐 藤 栄 一 | 櫛引庁舎市民福祉課長 |
| 佐 藤 智 井 | 朝日庁舎市民福祉課長 |
| 剣 持 健 志 | 温海庁舎市民福祉課長 |
| 本 間 克 秀 | 廃棄物対策課施設主幹 |
| 小野寺 保 則 | 廃棄物対策課課長補佐兼リイクル推進主査 |
| 後 藤 浩 | 廃棄物対策課リサイクル推進主査 |
| 阿 部 真 | 廃棄物対策課施設管理係長 |
| 長谷川 修 | 廃棄物対策課リサイクル推進係長 |
| 高 田 美 穂 | 廃棄物対策課リサイクル推進専門員 |
| 佐 藤 剛 | 廃棄物対策課リサイクル推進係主事 |
| 湯 田 雛 乃 | 廃棄物対策課リサイクル推進係主事 |

(1) 令和4年度一般廃棄物処理の事業実績について

鶴岡市一般廃棄物処理基本計画（改訂版）及び令和4年度一般廃棄物処理実施計画に基づき、ごみ発生抑制及び資源化の推進に取り組んだ。

鶴岡市一般廃棄物処理基本計画(改訂版)の目標値

| | 令和7年度の目標値 |
|-------------------|-----------|
| 家庭系ごみ 1人1日あたりの排出量 | 550g |
| 資源回収量 | 3,200t |
| 事業系ごみの排出量 | 10,200t |
| リサイクル率 | 13.2% |



◎1人1日あたりの家庭系ごみの排出量

(家庭系ごみ－資源ごみ)÷鶴岡市の人口÷年間日数

◎リサイクル率

(リサイクルプラザで資源化した量＋資源回収量)÷ごみの総排出量

I. 令和4年度鶴岡市一般廃棄物の排出量等実績

《1》家庭系ごみの排出量

- ・令和4年度の家庭系ごみの排出量は、28,756 tで前年度より284 tの減少となった。
(グラフ1)
- ・1人1日あたりの家庭系ごみの排出量は、604 gで前年度より3 g増加となった。
(グラフ2)

◎1人1日あたりの家庭系ごみの排出量は、新型コロナウイルス感染症が流行した令和2年度以降、約600 gで推移しており、依然として国、県に比べ高い値となっている。
令和7年度の目標値550 gに向けて一層のごみ減量・リサイクル推進が必要である。

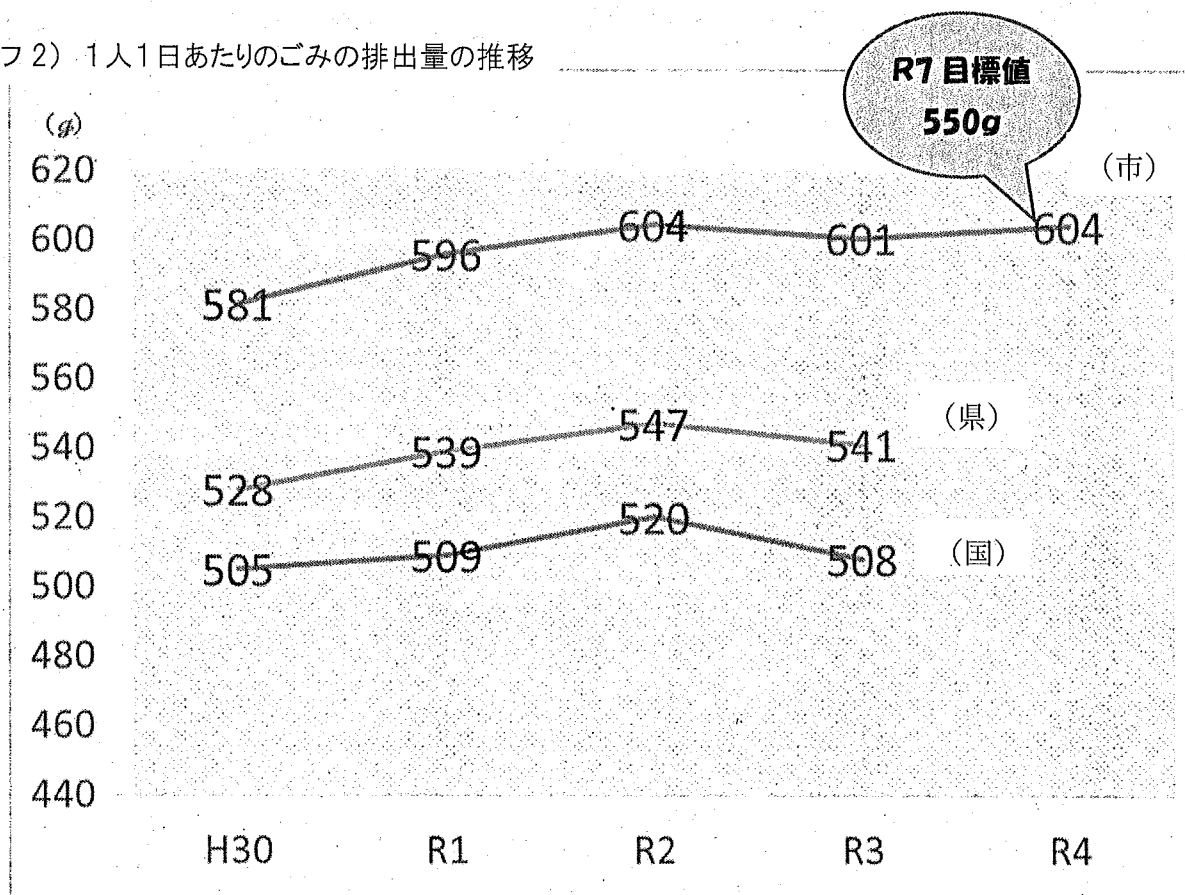
《2》資源回収量（集団回収量＋拠点回収量）

- ・令和4年度の資源回収量は2,688 tで前年度に比べ33 t減少した。(グラフ1)

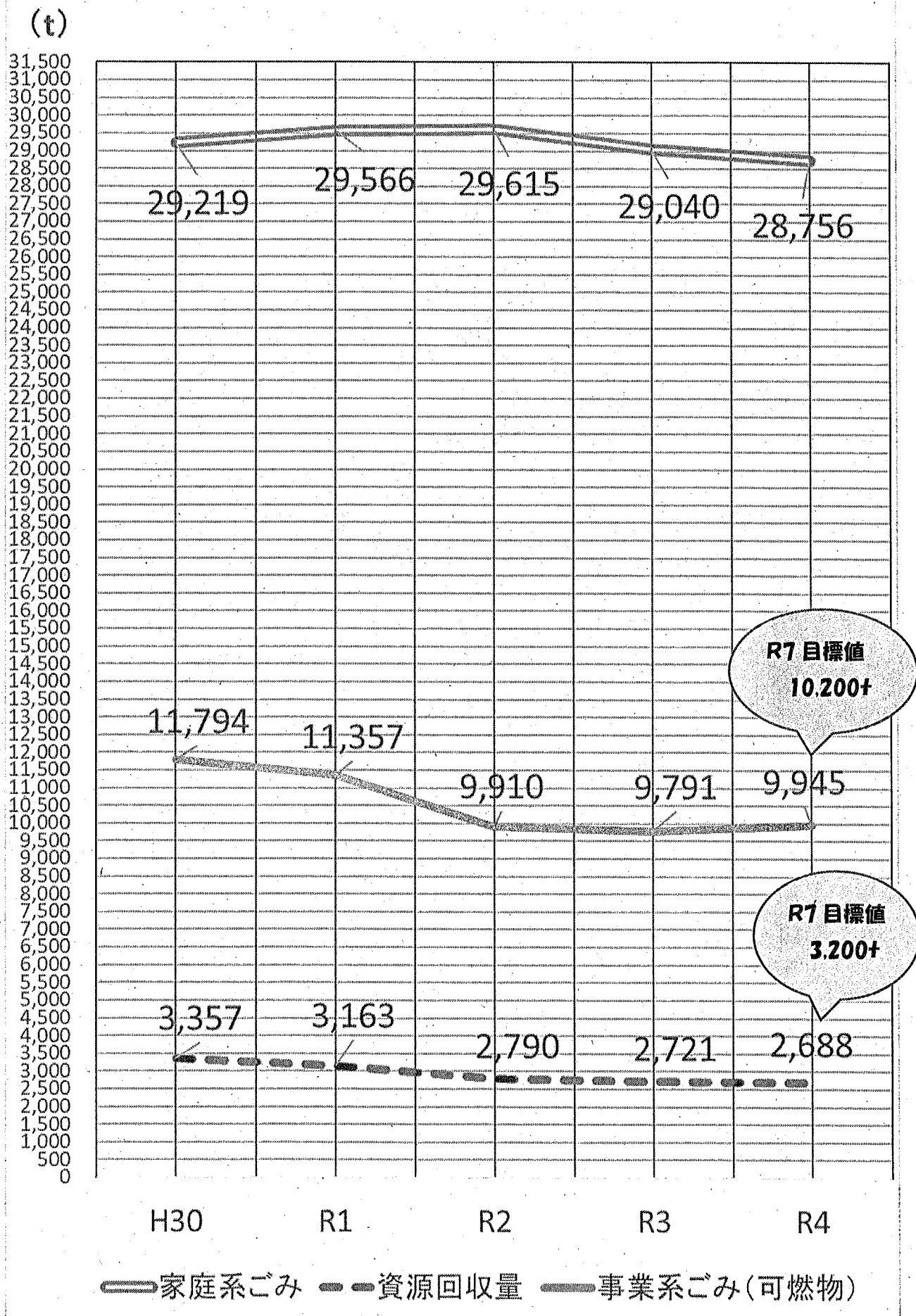
《3》事業系ごみの排出量

- ・令和4年度の事業系ごみの排出量は、9,945 tで前年度より154 tの増加となった。
(グラフ1)

(グラフ2) 1人1日あたりのごみの排出量の推移



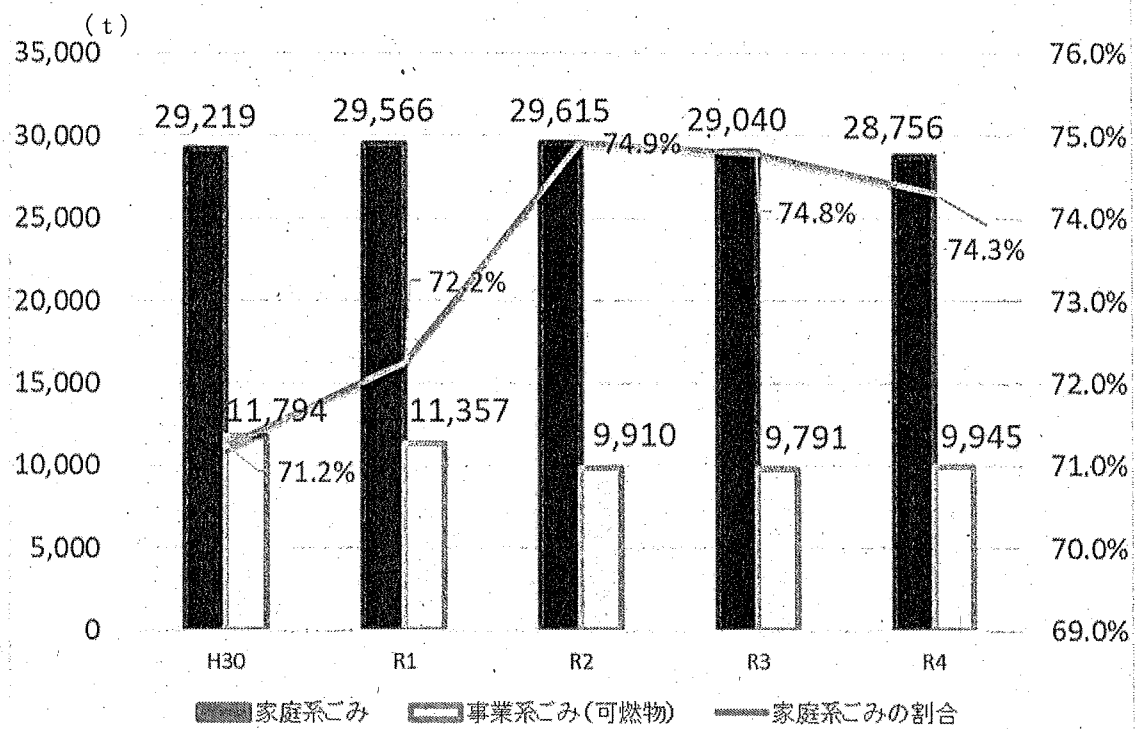
(グラフ1) 家庭系ごみの排出量・資源回収量・事業系ごみの排出量



《4》家庭系ごみ・事業系ごみの排出量の比較

- ・家庭系ごみの割合は、ごみ全体の約75%を占めている。
- ・家庭系ごみは、事業系ごみの約3倍の量となっている。(グラフ3)

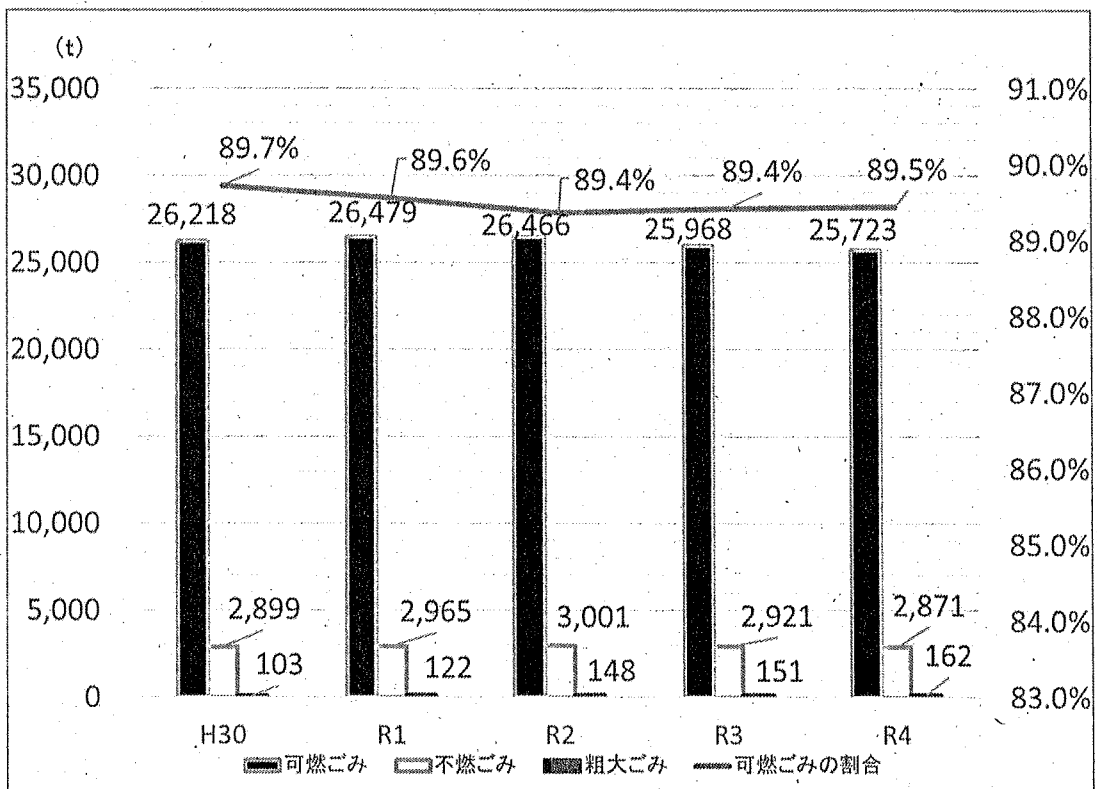
(グラフ3) 家庭系ごみ・事業系ごみの排出量の比較



《5》家庭系ごみの中の可燃物と不燃物の割合

- ・家庭系ごみの中では、可燃ごみの割合が約90%を占めている。(グラフ4)

(グラフ4) 家庭系ごみの中の可燃物不燃物の割合

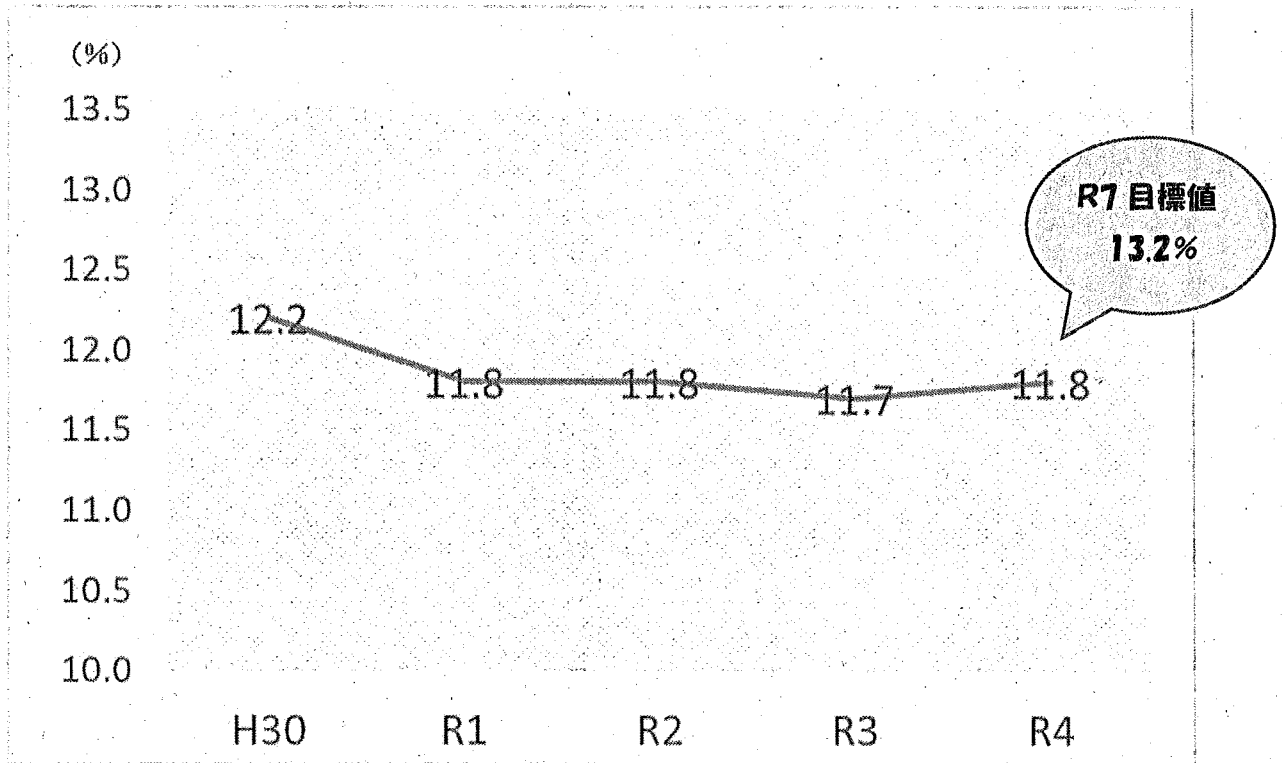


◎ごみの全体量は減少している。家庭系ごみが全体の約75%を占めている。その中でも可燃ごみが約90%を占めており、可燃ごみを減少させることがごみ減量の鍵となる。
令和5年度も昨年度と同様に可燃ごみ減量のターゲットを絞るための組成分析を実施する。

《6》リサイクル率

- ・令和4年度のリサイクル率は、11.8%で令和3年度より0.1ポイント上昇している。
(グラフ5)

(グラフ5) リサイクル率の推移

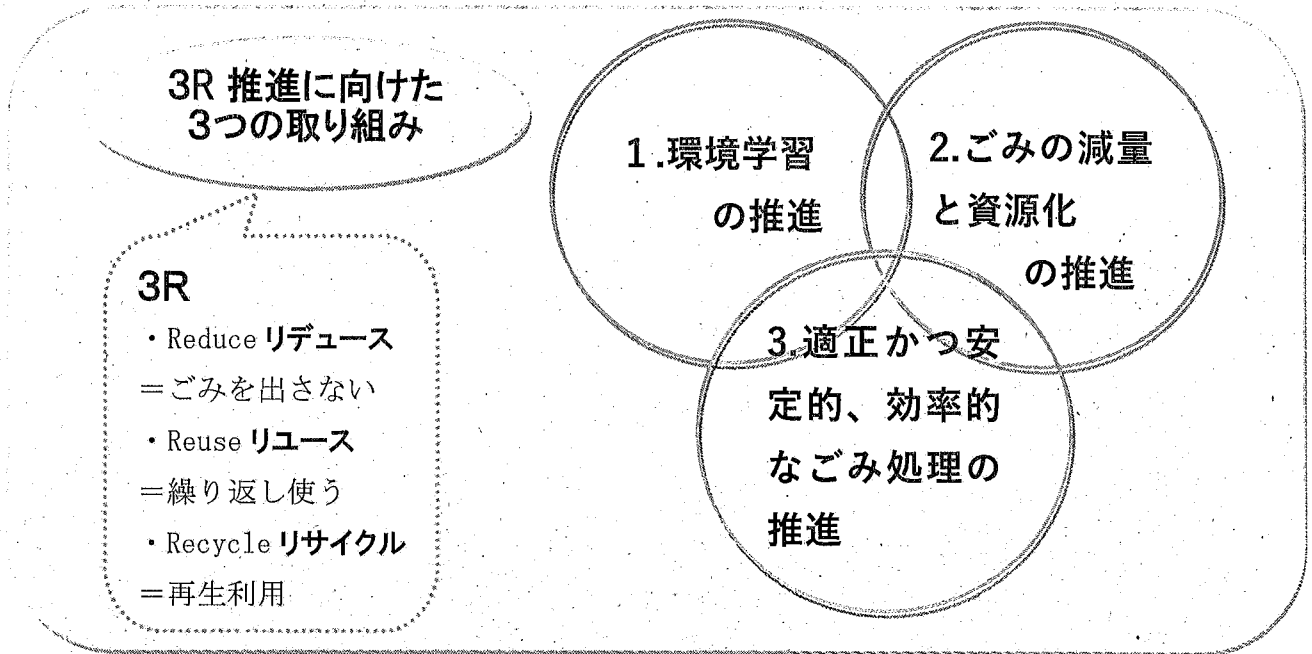


リサイクル率 = (リサイクルプラザにおける資源化の量 + 資源回収量 (集団回収 + 拠点回収)) ÷ ごみの総排出量

◎容器の軽量化、集団回収量の減少、リサイクルルートが多様化などにより、リサイクル率は約11.8%で推移している。分母となるごみの総排出量の減量を進めリサイクル率の向上を図る。

Ⅱ. 3R推進の主な取り組み

令和4年度一般廃棄物処理実施計画では、3R推進に向けて3つの取り組みと20の課題・目的を設定し事業を行った。（資料3）



1.環境学習の推進

《1》きめ細やかで効果的な情報発信

・市広報・エコ通信・市ホームページ・市SNSを活用した、ごみの減量・リサイクルの取り組み、3Rの推進等の廃棄物行政に関する情報発信、市公式LINEによるごみ分別検索機能の提供を積極的に行った。

・YouTubeでごみ焼却施設やリサイクルプラザ、最終処分場のごみ処理の様子を動画配信した。

登録者数

| | R 4. 6 | R 5. 7 | 備 考 |
|----------|---------|---------|-----------------------|
| LINE | 29,711人 | 35,440人 | うちごみ分別プッシュ通知登録数3,912人 |
| Facebook | 2,688人 | 2,837人 | |
| Twitter | 4,600人 | 5,296人 | |

| 広報媒体 | 主な掲載内容 | |
|------|------------|--|
| 市広報 | 4月 | ・ごみの分け方・出し方にご協力ください |
| | 5月 | ・スプレー缶等のごみの出し方に注意！ ・蛍光管・乾電池等のごみの出し方に注意！ ・鶴岡ごみゼロ大作戦 |
| | 6月 | ・事業系ごみはごみステーションには出せません |
| | 7月 | ・生ごみの水切りにご協力ください ・ごみ処理3施設 夏休み見学会 |
| | 8月 | ・農薬・薬品をごみステーションに出さないでください |
| | 9月 | ・令和5年度市ごみ収集カレンダー 有料広告を募集します |
| | 10月 | ・10月は3R推進月間・食品ロス削減月間 ・10月は不法投棄・海岸漂着ごみ削減強化月間 |
| | 11月 | ・家電4品目の処分方法 |
| | 12月 | ・年末年始のごみ収集 ・おいしく残さず食べ切ろう！ |
| | 1月 | ・水銀柱の温度計・血圧計・体温計の捨て方について |
| | 2月 | ・スーパーマーケット等で資源物の店頭回収が行われています |
| | 3月 | ・引っ越し時のごみの処分は計画的に！ |
| エコ通信 | 夏号 (6月) | ・古紙類の無料回収を実施しています ・古着の無料回収も実施しています ・ごみ焼却施設を見学してみませんか |
| | 秋号 (9月) | ・ごみゼロ大作戦を実施しました！ ・海ごみを減らすためにできること ・もやすごみに金属類を入れないで！！ ・産業廃棄物は適正な処理を！！ ・お買い物では「てまえどり」を |
| | 春号 (2月) | ・桃色のごみ袋の出し方をご確認ください |

《2》リサイクルプラザの活用

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、夏休み親子リサイクル体験教室、リサイクルプラザ休日見学会は行わなかったが、施設見学を通じてごみの減量や分別の理解、3Rの啓発に努めた。

リサイクルプラザ見学者数（団体：小学校を除く）

| 年度 | 団体 | | 個人 | 合計 |
|----|-----|------|------|------|
| | 団体数 | 見学者数 | 見学者数 | |
| R2 | 2団体 | 23人 | 20人 | 43人 |
| R3 | 5団体 | 96人 | 43人 | 139人 |
| R4 | 3団体 | 45人 | 40人 | 85人 |

《3》ごみ焼却施設の活用

- ・ごみ焼却施設の見学ホールを活用した施設紹介、環境学習の推進に取り組んだ。
- ・令和4年度から市民の見学機会を拡大するため祝日等も見学できる日を設けている。

ごみ焼却施設の見学者数（団体：小学校を除く）

| 年度 | 団 体 | | 個 人 | 合計 |
|----|-------|-------|------|-------|
| | 団体数 | 見学者数 | 見学者数 | |
| R3 | 32 団体 | 491 人 | 34 人 | 525 人 |
| R4 | 56 団体 | 871 人 | 35 人 | 906 人 |

《4》学童期からの環境教育

- ・教育委員会と連携し、小学4年生を対象に施設見学を通じて、環境教育に取り組んだ。

ごみ焼却施設小学生見学者数（R3.6～）

| 年度 | 校数 | 人数 |
|----|------|-------|
| R3 | 24 校 | 764 人 |
| R4 | 35 校 | 926 人 |

リサイクルプラザ小学生見学者数

| 年度 | 校数 | 人数 |
|----|------|-------|
| R2 | 23 校 | 744 人 |
| R3 | 23 校 | 835 人 |
| R4 | 27 校 | 889 人 |

最終処分場小学生見学者数（大荒最終処分場）

| 年度 | 校数 | 人数 |
|----|-----|-------|
| R4 | 5 校 | 144 人 |

※令和3年10月1日供用開始（令和4年度より見学受入れ）

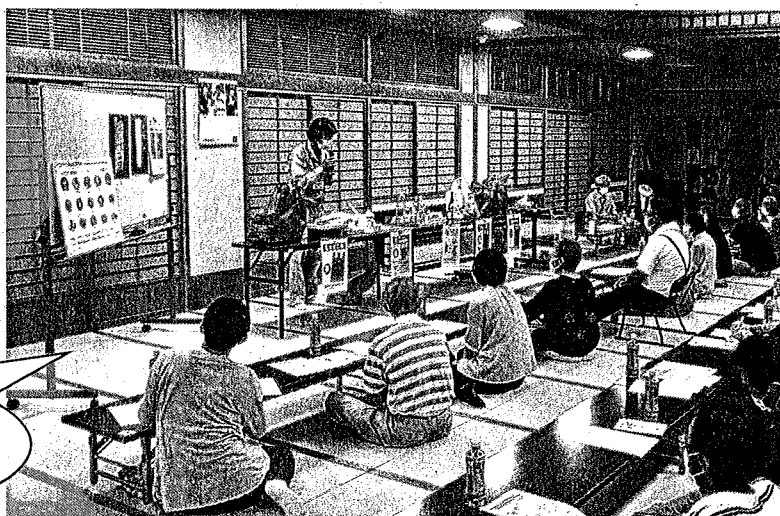
《5》草の根の推進活動

- ・各町内会や市民団体に出向き「ごみ分別出前講座」を実施した。

ごみ分別出前講座及び展示回数

| 年度 | 実施回数 | 参加者数 | 備考（展示会場） |
|----|------|------|----------|
| R2 | 17回 | 504名 | 1会場 |
| R3 | 12回 | 219名 | 2会場 |
| R4 | 23回 | 427名 | 2会場 |

※R4年度の展示 : 8/24 令和3年度廃棄物減量等推進審議会
: 9/25 環境フェアつるおか



ごみ分別説明会の様子
正しい分別でごみ減量！！

《6》組織活動

- ・鶴岡市環境保全推進員研修会を開催した。
開催日：令和4年7月27日（水）
会場：出羽庄内国際村（各庁舎オンライン参加）
参加者：参加者 183名（会場参加89名、オンライン参加94名）

2.ごみの減量と資源化の推進

《1》家庭への啓発

- ・市広報・エコ通信・市ホームページ・市SNSを活用して、ごみの減量・リサイクルの取り組み、3Rの推進等の廃棄物行政に関する情報発信を積極的に行った。

⇒1.環境学習の推進《1》きめ細やかで効果的な情報発信

《2》事業者への啓発

- ・市内の事業者、コミセン施設に食品ロス削減ポスターの掲示と啓発活動の協力を図った。

| 年度 | 飲食店事業者 | コミセン施設 |
|----|--------|--------|
| R4 | 30 店舗 | 70 箇所 |

《3》ごみの資源化の推進

- ・町内会、自治会等の協力を得て、早朝のごみ出しの時間に合わせて、ごみステーションにおいて、ごみ分別等の指導(立哨指導)を行った。

立哨指導回数

| 年度 | 実施回数 | ステーション数 | 町内会協力者 |
|----|------|---------|--------|
| R2 | 2 件 | 4 箇所 | 8 名 |
| R3 | 1 件 | 2 箇所 | 4 名 |
| R4 | 2 件 | 4 箇所 | 7 名 |

《4》資源回収運動の推進

- ・リユース・リサイクルを推進するため、古着・古紙・小型家電等の拠点回収を毎月第3日曜日にごみ焼却施設で実施。令和4年度の拠点回収による資源の総回収量は91,290kgで9,574kg増加した。

拠点回収による資源回収量(ごみ焼却施設)

| 年度 | 古紙類 | 小型家電 | 古着 | 総回収量(kg) |
|----|--------|-------|--------|----------|
| R3 | 69,826 | 1,030 | 10,860 | 81,716 |
| R4 | 77,100 | 3,290 | 10,900 | 91,290 |

《5》もやすごみの休日受け入れ

- ・市民の要望が多い休日のごみの受け入れについて、令和4年度より、ごみ焼却施設での休日のもやすごみの受け入れを開始。毎月第2土曜日と一部祝日等の受け入れを行った。同日に古紙類の回収も実施。

3.適正かつ安定的、効率的なごみ処理の推進

《1》ごみステーションの維持管理

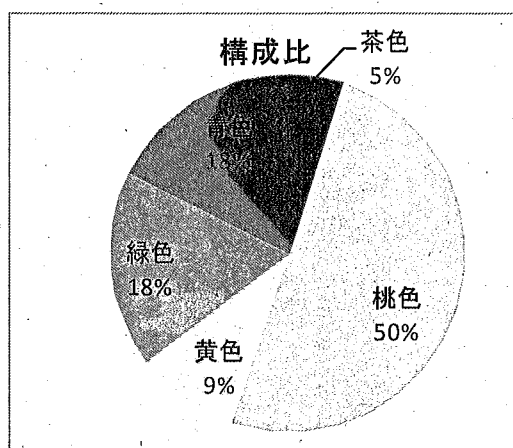
- ・各町内会や、環境保全推進員と協力して適正なごみステーションの設置と維持管理を推進した。(R4ごみステーション数:2,498箇所)

《2》適正排出の推進

・ごみステーションに出された分別違いごみについて、再確認シールを貼りステーションに留め置きし啓発を図った。桃袋、青袋、緑袋の留め置きが多く、今後ごみ分別説明会や立哨指導、広報等で啓発する必要がある。

(単位：個)

| 年度 | 茶色 | 桃色 | 黄色 | 緑色 | 青色 | 計 |
|-----|-------|--------|-------|--------|--------|--------|
| R2 | 1,561 | 29,673 | 6,500 | 11,876 | 14,316 | 63,926 |
| R3 | 2,126 | 26,537 | 5,742 | 10,647 | 13,229 | 58,281 |
| R4 | 2,630 | 26,349 | 5,037 | 9,304 | 9,302 | 52,622 |
| 構成比 | 5.00% | 50.07% | 9.57% | 17.68% | 17.68% | 100.0% |



茶色：もやすごみ
 桃色：プラスチック製容器包装類
 黄色：ペットボトル
 緑色：びん・缶
 青色：金属・その他

《3》高齢化等への対応

・ケアマネージャー及び地域包括支援センター職員へのアンケート（令和4年2月実施）や、町内会長等へのアンケート（令和4年11月実施）を踏まえ、高齢者等のごみ出しを支援する方策について、地域ケア推進会議の場も活用して検討した。

《4》再生可能エネルギーの導入と地産地消

・ごみ焼却で発生する熱エネルギーを発電と消雪等に利用し、施設で使用する電力をまかなうほか余剰電力を売電した。

・また、自家用消費に含まれる環境価値を「グリーン電力証書」として売却し収入を得ているほか、(株)やまがた新電力に売却する電力（非FIT）が有する非化石価値（化石燃料によらない電気の環境価値）を証書化して、(株)やまがた新電力が電力供給している小中学校等の鶴岡市の施設に非化石化証書付き電力を供給して「電力の地産地消」を行っている。

| 年度 | 発電量 (kwh) | 売電量 (kwh) | | | グリーン電力証書売却収入 |
|----|--------------|------------|-----------|------------|--------------|
| | | FIT | 非FIT | 合計 | |
| R4 | 20,255,060 | 7,591,913 | 5,503,955 | 13,095,868 | 2,646 千円 |
| | | 141,969 千円 | 73,781 千円 | 215,750 千円 | |

《5》環境保全の推進

- ・クリーン作戦や市一斉清掃へのボランティア参加を通じて環境意識の高揚が図られた。
- ・不法投棄の現場を確認し、土地所有者に連絡するとともに、再発防止のため看板設置等を実施した。

クリーン作戦

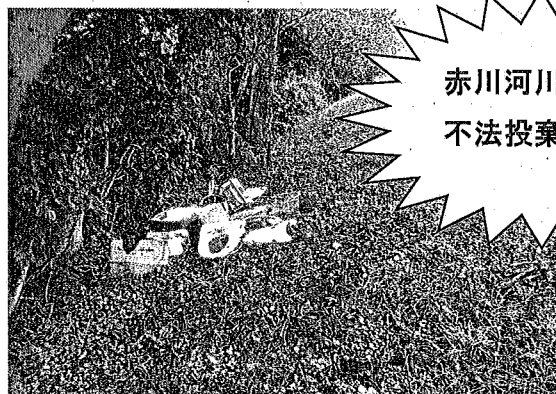
| 年度 | 実施 団体数 | 参加人数 | 収 集 量 | | |
|----|-----------|---------|--------|-------|--------|
| | | | 可燃物 | 不燃物 | 計 |
| R2 | 185団体 | 8,776人 | 29.2 t | 3.0 t | 32.2 t |
| R3 | 202団体 | 10,699人 | 29.2 t | 2.1 t | 31.3 t |
| R4 | 266団体 | 13,130人 | 33.8 t | 1.9 t | 35.7 t |

市一斉清掃

| 年度 | 参加人数 | 収 集 量 | | | |
|----|--------|--------|-------|-------|--------|
| | | 可燃物 | 不燃物 | 粗大ごみ | 計 |
| R2 | 6,769人 | 3.6 t | 1.0 t | | 4.6 t |
| R3 | 7,428人 | 8.9 t | 1.7 t | 0.1 t | 10.7 t |
| R4 | 7,586人 | 11.0 t | 1.0 t | | 12.0 t |

不法投棄

| 年度 | 確認件数 | | |
|----|------|-----|-----|
| | 公有地 | 民有地 | 計 |
| R2 | 74件 | 17件 | 91件 |
| R3 | 66件 | 22件 | 88件 |
| R4 | 62件 | 13件 | 75件 |



赤川河川敷
不法投棄現場

《6》安定的な廃棄物処理体制の構築

- ・市内収集運搬業者全12者を構成員とした鶴岡市環境事業協同組合と令和3年度に3年間の長期契約をして、災害時等の非常時においても生活系一般廃棄物の収集運搬が継続できるよう補完体制を構築している。

(2) 令和5年度一般廃棄物行政の事業執行について

《1》ごみゼロ（530）大作戦

5月30日のごみゼロの日に合わせて、世界的に問題となっている海に流出するごみの8割が陸（街）由来とされている海洋プラスチックごみ問題について着目し、湯野浜海岸でクリーン作戦を行い、実態の把握と海洋ごみの周知啓発を図った。

場 所：湯野浜海岸

参加者：環境保全推進員・一般ボランティア 99名（うち、つるおかSDGs推進パートナー 17企業・団体 74名）

湯野浜小学校4～6年生 約65名、大泉小学校4年生 約20名
市県関係者を合わせて総勢約200名

協 力：美しいやまがたの海プラットフォーム

回収量：508.3kg



海ごみ回収の様子

集まったごみの量は約500kg！

*** 参加者の感想 ***

- ・思っていたよりもたくさんのごみ、また多くの種類のごみがあって驚いた。
- ・ごみを捨てる人がいるという事実が悲しかった。
- ・こんな小さなごみをカメや魚が食べて死ぬというのを聞いて、かわいそうだと思います。
- ・最初は汚かったけど拾ってみたらきれいになって嬉しくなった。
- ・ごみは分別してごみ箱に捨てる。
- ・自分から進んで落ちているものを拾いたい。
- ・ポイ捨てをなくして、海に行ったときは、ごみを拾って裸足で歩ける砂浜にしたいです。

《2》 コミセン拠点回収モデル事業

・資源物の排出場所の拡大の可能性を探るため、市民にとって身近なコミュニティセンターを活用して、古紙回収のモデル事業を実施する。

《3》 高齢者等のごみ出し支援

・ヘルパーや親族、近隣住民等によるごみ出し支援の取組を促進することで、高齢者・障害者等の、ごみステーションまでごみを出すことが困難な世帯を支援するため、ごみ出し支援を行う団体に補助金を交付する。

《4》 ごみ焼却施設の愛称募集について

・市民に親しまれ、子どもから大人まで環境学習できる施設としてより親しみを持って活用されるよう、市民の皆様からの愛称を募集する。

《5》 もやすごみのサンプル調査

・令和4年度に引き続き、家庭から出るごみの約9割を占めるもやすごみのサンプル調査を実施する。

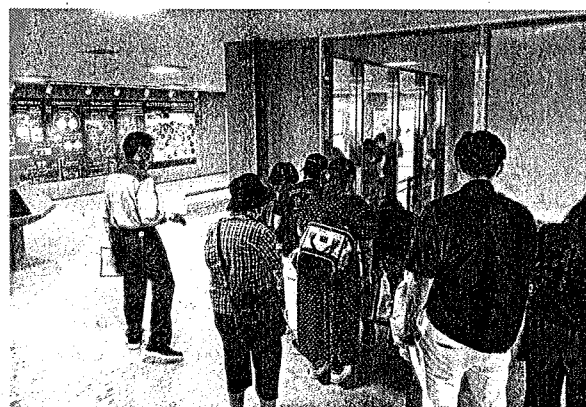
《6》 ごみ処理3施設 夏休み見学会

・ごみ焼却施設とリサイクルプラザ、一般廃棄物最終処分場（大荒）を巡るごみ処理3施設夏休み見学会を実施した。

実施日：令和5年8月3日（木）

参加者：33名

見学施設：ごみ焼却施設・リサイクルプラザ・一般廃棄物最終処分場



ごみ焼却施設の見学

《7》 主な施設整備工事

・鶴岡市旧ごみ焼却施設解体工事

工事費：874,500千円 工期：令和4年7月7日～令和6年3月22日

・令和5年度岡山最終処分場キャッピング工事

工事費：86,020千円 工期：令和5年7月6日～令和6年3月15日

(3) 鶴岡市指定ごみ袋の色の変更について

1. 目的

家庭系ごみの適正なごみの分別とリサイクルを効果的に推進するため、市指定ごみ袋の乳白色化・透明化を検討するもの。

- ・ごみ袋の中身を確認しやすくすることで、違反ごみの混入を防ぐとともに、分別する意識を高めていただくことで、ごみの減量・再資源化を進める。
- ・分別の確認及び危険物の見分けがしやすくなることで、作業中のケガや事故の防止、収集作業の安全性を高める。

2. 変更内容

- ① 茶色の袋「もやすごみ」の「乳白色化」
- ② 青色の袋「金属・その他」の「透明化」

3. スケジュール

ごみ袋の変更は、市民生活に直結するものであることから、変更の目的、内容について、コミュニティ振興会・自治振興会を通じて説明し、市民への十分な理解と分別意識の浸透を図りながら取り組みを進めていく。

変更の時期については、令和7年度中を見込む。

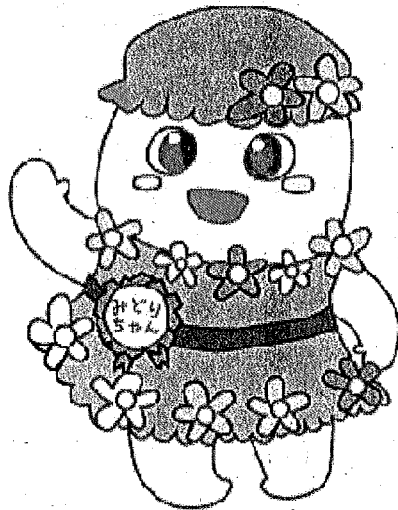
○令和5年度

| | | |
|------------|--------------|---|
| 8月 | 廃棄物減量等推進審議会 | 変更について説明（方向性の確認） |
| 9月～ 12月 | 市民へ変更の周知説明 | 変更の目的、内容について、コミュニティ振興会・自治振興会を通じて説明。 分別説明会等での説明 |
| R6.3月 | 変更（確定案）の庁内協議 | ごみ袋の色変更（確定案）の庁内合意 |
| | 廃棄物減量等推進審議会 | ごみ袋の色変更（確定案）の説明 |
| | 市民への周知 | 市HP・SNS等による周知 |

○令和6年度 新色ごみ袋の製造発注

○令和7年度 新色ごみ袋の出荷、店頭販売（在庫状況により順次変更）

※変更後も従来のごみ袋（在庫品）は使用可能。



鶴岡市のエコキャラみどりちゃん

資料1

鶴岡市における一般廃棄物の排出量等実績及び目標値

(単位:t)

| | 平成30年度 実績 | 令和元年度 実績 | 令和2年度 実績 | 令和3年度 実績 | 令和4年度 実績 | 令和7年度 目標値・(参考指標) |
|---------------------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|---------------|---------------------|
| ①家庭系ごみ =②+③+⑤ | 29,219 | 29,566 | 29,615 | 29,040 | 28,756 | |
| ②可燃ごみ | 26,218 | 26,479 | 26,466 | 25,968 | 25,723 | |
| ③不燃ごみ | 2,898 | 2,965 | 3,001 | 2,921 | 2,871 | |
| (④うち資源ごみ) | 2,185 | 2,146 | 2,185 | 2,173 | 2,135 | |
| ⑤粗大ごみ | 103 | 122 | 148 | 151 | 162 | |
| ⑥資源回収量 | 3,357 | 3,163 | 2,790 | 2,721 | 2,688 | 3,200 |
| ⑦生活系ごみ =①+⑥ | 32,576 | 32,729 | 32,405 | 31,761 | 31,444 | (25,790) |
| ⑧事業系ごみ | 11,794 | 11,357 | 9,910 | 9,791 | 9,945 | 10,200 |
| ⑨ごみ排出量 =⑦+⑧ | 44,370 | 44,086 | 42,315 | 41,552 | 41,389 | (39,191) |
| ⑩家庭系ごみ(資源ごみを除く) =①-④ | 27,034 | 27,420 | 27,430 | 26,867 | 26,621 | |
| ⑪リサイクル率(%) | 12.2 | 11.8 | 11.8 | 11.7 | 11.8 | 13.2 |
| ⑫家庭系ごみ(資源ごみを除く) 1人1日当り排出量(g) | 581 | 596 | 604 | 601 | 604 | 550 |
| ⑬ごみ排出量 1人1日当り排出量(g) | 954 | 958 | 932 | 929 | 939 | (911) |
| ⑭各年度9月末人口(人) | 127,390 | 125,743 | 124,344 | 122,575 | 120,783 | |

資源回収実績

| | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | |
|----------|-----------------|---------------------|---------------------|---------------------|------------|
| 集団回収 | 登録団体数 | 393 | 384 | 377 | |
| | 実施回数 (1団体平均) | 2,475 (6.3) | 2,416 (6.3) | 2,408 (6.4) | |
| | 回収量 (kg) | 新聞紙 | 1,189,060 | 1,156,414 | 1,124,562 |
| | | 雑誌 | 674,176 | 643,976 | 616,028 |
| | | ダンボール | 768,186 | 768,378 | 791,105 |
| | | 飲料用パック | 7,137 | 7,303 | 7,464 |
| | | 雑がみ | 19,105 | 13,426 | 12,867 |
| | | 古紙類計 | 2,657,664 | 2,589,497 | 2,552,025 |
| | | 金属類 | 22,222 | 21,103 | 20,175 |
| | びん類 | (45,986本) 35,494 | (35,959本) 28,298 | (31,239本) 24,646 | |
| | 重量計 | 2,715,380 | 2,638,898 | 2,596,846 | |
| | 報奨金 (円) | 実施団体 | 12,105,132 | 11,783,362 | 11,605,912 |
| | | 回収業者 | 8,063,421 | 10,436,152 | 10,279,689 |
| 拠点回収 | 回収量 (kg) | 新聞紙 | 24,850 | 21,580 | 21,600 |
| | | 雑誌 | 26,290 | 25,120 | 29,230 |
| | | ダンボール | 21,860 | 22,670 | 25,720 |
| | | 飲料用パック | 195 | 236 | 192 |
| | | 雑がみ | 165 | 220 | 358 |
| | 古紙類計 | 73,360 | 69,826 | 77,100 | |
| | 小型家電 | 960 | 1,030 | 3,290 | |
| | びん類 | (-本) - | (-本) - | (-本) - | |
| | 古着 | - | 10,860 | 10,900 | |
| 重量計 | 74,320 | 81,716 | 91,290 | | |
| 重量合計(kg) | | 2,789,700 | 2,720,614 | 2,688,136 | |

1 環境学習の推進

| 課題・目的 | 取組内容 | |
|-------------------------|--|--|
| <p>多様な媒体による効果的な情報発信</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌やエコ通信、ホームページ、SNS、YouTube など、様々なメディアによる情報発信を積極的に行う。 ・ 市公式LINE を活用して、ごみ収集日通知機能やごみ分別検索機能などを提供する。 <p>ごみ処理施設の活用</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校や町内会等の団体の施設見学を受け入れ、資源循環型社会の構築に向けた啓蒙・啓発を図る。 ・ 施設見学会や各種リサイクル教室を開催する。 ・ リサイクルプラザの古本銀行(※2)をPRする。 ※2 リサイクルプラザにおいて、市民が持ち込んだ古本を、必要な人に貸し出すもの。 ・ リサイクルプラザに持ち込まれた粗大ごみのうち、再生可能なものは極力再生し、場内での展示や市民への提供などに活用する。 ・ ごみ焼却施設の愛称を募集する。 |

| | |
|---------------|---|
| 学童期からの環境教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校単位での施設見学等の校外学習など、様々な機会を捉えて子どもたちへの啓蒙、特にリデュース(発生抑制)について力を入れる。 |
| 市民と協働での環境学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内会等や各市民団体においてごみ分別出前講座を実施し、ごみ減量の必要性やごみの分け方・出し方の理解と分別徹底を推進する。 |
| 廃棄物減量等推進員との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修会や市職員との連絡・相談などを通じて、鶴岡市廃棄物減量等推進員の意識を高め地域活動推進を図る。 ・町内会等の効果的な取組事例などについて情報共有する。 |
| 催事等での取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・「環境フェア」等環境イベントを開催し、3Rについての啓発やフリーマーケット等に取り組む。 ・地域イベント等でのごみ減量への協力・参加を呼びかける。 |

2. ごみの減量と資源化の推進

| 課題・目的 | 取組内容 |
|-------------------|--|
| 家庭への啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ・簡易包装商品の購入など、「ごみになるものを買わない、増やさない」という気運を醸成する。 ・生ごみの水切り徹底、特に夏の期間には極力水分を減らして排出することを呼びかける。 ・食品ロス削減のため、食材の適量購入、使いきり、食べきりなどを呼びかける。 ・フードバンク・フードドライブ活動(※3)への協力を呼びかける。 <small>※3 各家庭で食べきれない食品などを引取り、福祉施設等へ無料で提供する社会福祉活動。</small> ・レジ袋やスプーンを受け取らないようにするなど、ワンウェイ(使い捨て)プラスチックの利用削減を呼びかける。 |
| もやすごみの組成分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量のターゲットを絞り込むため、家庭から排出されたもやすごみの内訳調査を実施する。 |
| 家庭系ごみ処理の有料化の調査・研究 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理に対するコスト意識の醸成や、ごみ処理負担の軽減を図るため、ごみ収集体制のあり方やごみ処理有料化について調査・研究する。 |

| | |
|----------------------------|---|
| <p>事業者への啓発</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・事業者の理解と協力を得ながら、簡易包装の実施など、ごみの発生量の少ない事業活動について啓発する。 ・市内の飲食店等の協力を得ながら、食品ロス削減ポスターの掲示など、外食時の「食べきり運動」を呼びかける広報活動を行う。 ・食品関連事業者等から排出される食品廃棄物の発生抑制と減量化について啓発する。 |
| <p>施設搬入ごみの手数料の見直し</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理施設に搬入されるごみの処理手数料について、適正な費用負担のための見直しを検討する。 |
| <p>率先した行政の取組の推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市所有・管理施設から排出されるごみの減量化を図る。 |
| <p>ごみの資源化の推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ焼却施設等において、古着・古紙・小型家電・水銀製品等の無料回収を実施する。 <div data-bbox="533 864 1074 1267" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="533 1283 786 1312">古着の無料回収の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者等と連携し、ペットボトル、食品トレイ、紙パック等の店頭回収を推進する。 ・プラスチック製容器包装類、古紙類、びん類等の家庭系ごみの分別を徹底し、資源としての排出を推進する。事業系ごみについても、分別収集の徹底と資源化を促進する。 ・町内会等の協力を得て、ごみステーションでの早朝立哨指導をより多く実施し、ごみの分け方・出し方の理解と分別徹底を推進する。 |
| <p>プラスチックごみの一括回収の調査・研究</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・もやすごみに含まれるプラスチックごみ量の試算や先進事例の調査、課題の整理など調査・研究を進める。 |

| | |
|--------------------|--|
| <p>集団資源回収運動の推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域が行う集団資源回収運動等への報奨金の支給など、支援を継続するとともに、優良事例を情報共有する。また、必要に応じて対象品目・報奨金の見直しを検討するなど、回収運動をさらに推進する。 ・特に雑がみ回収の拡大を周知し推進する。 |
|--------------------|--|

3 適正かつ安定的、効率的なごみ処理の推進

| 課題・目的 | 取組内容 |
|----------------------------------|--|
| <p>ごみステーションの維持管理</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量等推進員と協力して町内会等との連携を進め、適正なごみステーションの設置及び維持管理を推進する。 |
| <p>適正排出の推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみステーションへの事業系ごみの排出や、産業廃棄物の市施設への搬入などの不適正行為について、指導を強化する。 ・違法な不用品回収業者を利用しないよう啓発する。 ・収集運搬許可業者を通じて、ごみの適正排出について事業所に啓発を実施する。 |
| <p>高齢化等への対応</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯等のごみ出し困難者については、地域の自主的活動と歩調を合わせながら対応していくとともに、高齢者等のごみ出し支援について研究・検討を進める。 |
| <p>地域循環共生圏^(※4)の構築</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの焼却によって発生する熱を利用して発電を行い、施設内で自家消費するほか、余剰電力を売電し、市内の小中学校や公共施設などに供給する「電力の地産地消」に取り組む。 |
| <p>環境保全の推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体等と連携し、不法投棄防止に向けた啓発活動やパトロールを実施する。 ・ごみステーションにおけるごみの散乱防止の啓発を行う。 ・海岸部だけでなく陸域部でもクリーン作戦を実施するとともに、マイクロプラスチック^(※5)の現状などの情報発信を行うことで、海岸漂着ごみ対策を推進する。 |
| <p>新型コロナウイルス感染症への対応</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症まん延時においても、家庭系ごみの収集運搬業務を継続できるよう、委託業者等と連携し補完体制を構築するとともに、委託業者等に事業継続計画（BCP）の更新を促す。 |

※4 平成30年4月に閣議決定された第五次環境基本計画で提唱された考え方。各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方。

※5 プラスチックごみが波や紫外線の影響で小さくなることや、合成繊維の衣料の洗濯などによって発生する5mm以下の微細なプラスチック。